

令和7年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

# 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会 (恵那市・中津川市)

平成20年3月21日 設置

令和6年6月5日 明知鉄道沿線地域公共交通計画 改訂  
(計画期間：平成31年度～令和8年度)

評価対象の地域公共交通確保維持事業

- ・ 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

【沿線地域の特性】

- ・ 恵那市・中津川市は、山間地が多くを占め、岐阜県東濃地域に位置している。
- ・ 恵那市の人口は46,102人、中津川市阿木地域の人口は1,924人（令和7年12月1日現在）

明知鉄道沿線地域公共交通計画  
（計画期間：平成31年度～令和8年度）

【基本的な方針】  
多くの担い手が連携し、  
多くの方々が安心して暮らし、  
おでかけできるまち

計画の目標



- 目標 1 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進
- 目標 2 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成
- 目標 3 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備



◆ 具体的な取組内容1 **沿線地域住民の意識醸成・共有** ◆

目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

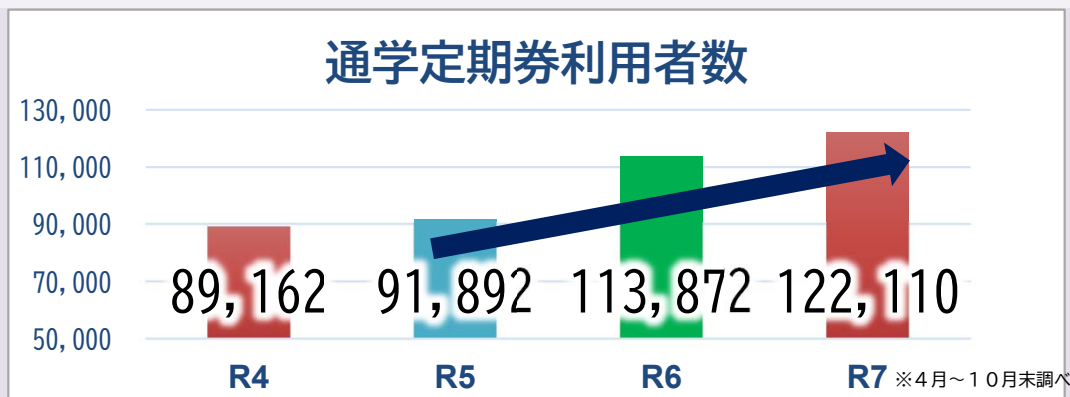
【**高校生の公共交通利用者増に向けた施策**】

★明知鉄道通学支援・・・R6.4からどの区間でも

**定期券代が一か月5,000円**に、通学定期購入者**前年比107%** (4月～10月末)  
(R5年度比133%)  
※恵那市

★高校生向け通学**モデルコースチラシ**を**市内中学3年生**に配布 (10月)

★高校生向けの公共交通の利用促進 (**キャッシュレスの強化**) チラシの配布 (10月)



明知鉄道通学支援



高校通学モデルコース



学生応援ナビ

【**モビリティマネジメントの推進**】

★**バスの乗り方教室**を実施

○路線再編地区等

**2回** (上矢作地区※一部社協職員対象)

○イベントなど

**5回** (まちなか市ENAFES、健幸フェスタ、シンポジウム)

★えーなワンコインパスポートの周知及び発行

R7.12月末登録者**203名**：75歳以上142名/免許返納61名)



バス乗り方教室



◆ 具体的な取組内容1 **沿線地域住民の意識醸成・共有** ◆

目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

【**地元商店と公共交通の共創事業**】

★**えーなまち得公共交通応援事業の創設**

R7.12月乗車券類を公共交通応援店舗で提示すると、店舗独自の特典サービスを受けることができる制度を**新たに**創設

**乗車券類の付加価値の向上**

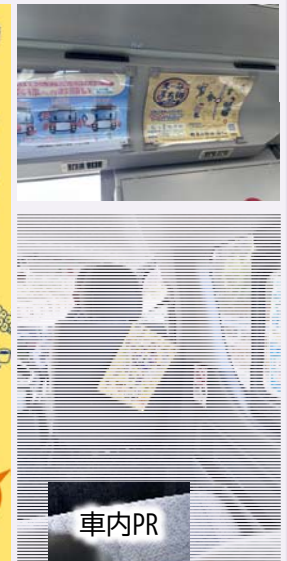
**乗って楽しい使ってうれしいを実現**

<乗車券類>

バス・明知鉄道の定期券、えーなワンコインパスポート、グリーン・ジュニア会員証

<店舗数／特典・サービス>

- ・公共交通応援店舗 16店舗（令和7年12月1日現在）
- ・大盛り無料、ドリンクサービス、代金5～10%引き など



【**モビリティマネジメントの推進**】

★**西村知穂が行くえな乗りつき小旅**

R7.1月恵那市公式YouTubeチャンネルで公共交通を利用したお出掛けを動画で紹介

- ①恵那峡編
- ②坂折棚田編
- ③くしはら温泉ささゆりの湯編
- ④日本大正村編



◆ 具体的な取組内容2 **交通体系の整備・官民共創** ◆

## 目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

## 【バス路線の見直し】

地域と協議を重ね再編



地元協議

★**明智地域** ※地域はフィーダー路線

- <定時定路> R6. 10月 一部運行系統する再編を実施
- <デマンド> R6. 10月
- ・ 隔日運行の場合、病院の予約日に合わないなどの課題があり、4地区での隔日運行を2地区とし毎日利用できるように再編
  - ・ 利用者ニーズに応じたミーティングポイントの**新設**（新井上1西）

★**上矢作地域** ※地域はフィーダー路線

- <定時定路> R7. 10月
- ・ 最終便の横道車庫以降を降車専用とする効率化と運転士の拘束時間の削減による労働環境改善の実施
- <デマンド> R7. 3月
- ・ 隔日運行で、利用者ニーズに合わないなどの課題があり、2地区での隔日運行を1地区とし毎日利用できるように再編
  - ・ 利用者ニーズに応じたミーティングポイントの移設

★**飯地地域**

## &lt;いいじ里山バス（有償運送）&gt;

- ・ R8. 4月からの**飯地診療所**の**診療日の減**に伴う恵那病院への需要拡大や高齢者の乗継の不便さに伴い更なる利便性向上と課題解決のため、恵那病院及び恵那駅までの**直通便**の運行について、交通事業者及び地元と運行方法やルート、時刻に関する検討を実施。
- ・ **高校生の朝の通学**に対応するための朝便の増加に向けた検討を実施

（継続検討中）



◆ 具体的な取組内容2 **交通体系の整備・官民共創** ◆

## 目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

## ★岩村地域

## &lt;岩村デマンド交通&gt;

岩村デマンド交通受託事業者の豊タクシーの契約期間途中での事業継続困難の影響を受け、デマンド交通の維持確保及び運行内容の改正を実施

R7.7月 10月から運行を予定していた平和コーポレーション様に運行を依頼、8月21日から運行を開始

10月 タクシー空白に対応するため、目的地を廃止し**すべてのミーティングポイント**で乗降できるように改正し、利便性の向上と利用者拡大を図る



## &lt;シェアサイクル&gt;

岐阜県の「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」に認定されている岩村地区の更なる観光客の回遊性の向上に向けたシェアサイクルステーションをR8.1月に新設

○ステーションの新設：2カ所 岩村駅、茅の宿とみだ ○車両の増車：5台

【**恵那駅前**の回遊性の向上】

## ★シェアサイクル

R4にまちなか巡回バスの補完としてシェアサイクルを導入

○ステーション数 18カ所

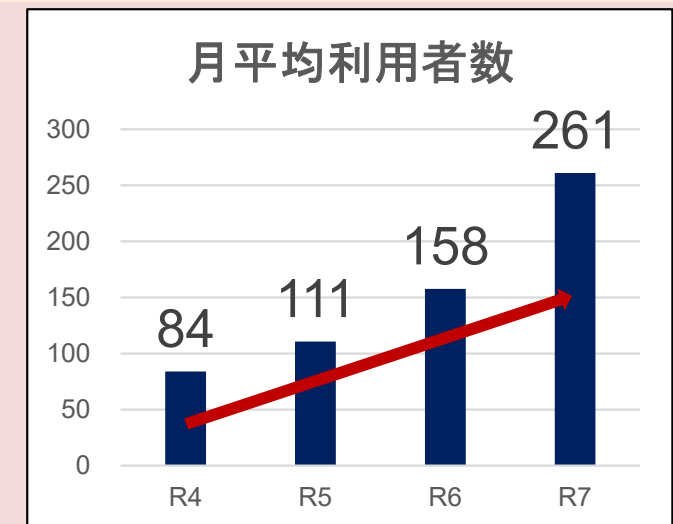
※R7年度1箇所追加

○車両台数 35台

※ R7年度10台増車



恵那藤太郎にステーション新設



## ◆ 具体的な取組内容3 移動環境の整備・周知 ◆

## 目標3：域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

## 【運賃のキャッシュレス化】

★R7. 3月NEW 自主運行バス（一部営業路線含む）の  
デジタル回数券・定期券・PayPayの運用を追加

○定期券利用者

- ・ **20%**が**デジタル定期券**に移行

○デジタル定期券の導入により市民の利便性向上

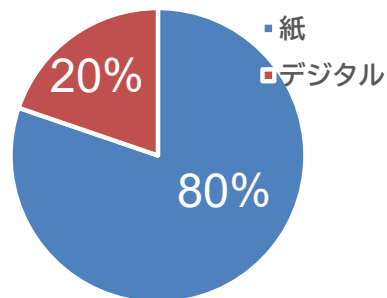
- ・ 利用者の家族は移動コスト0で購入可能に

○事業者の業務量削減

- ・ 販売窓口の対応数を削減



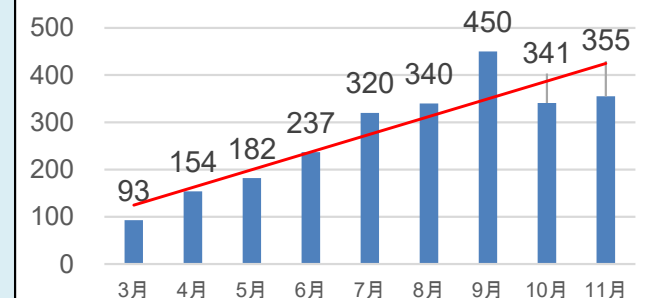
定期券購入割合



定期券購入状況

年度（4～11月）	購入者数	購入月数
R6（紙）	82	148
R7	81	158
（紙）	（65）	（115）
（デジタル）	（16）	（43）

PayPay利用件数



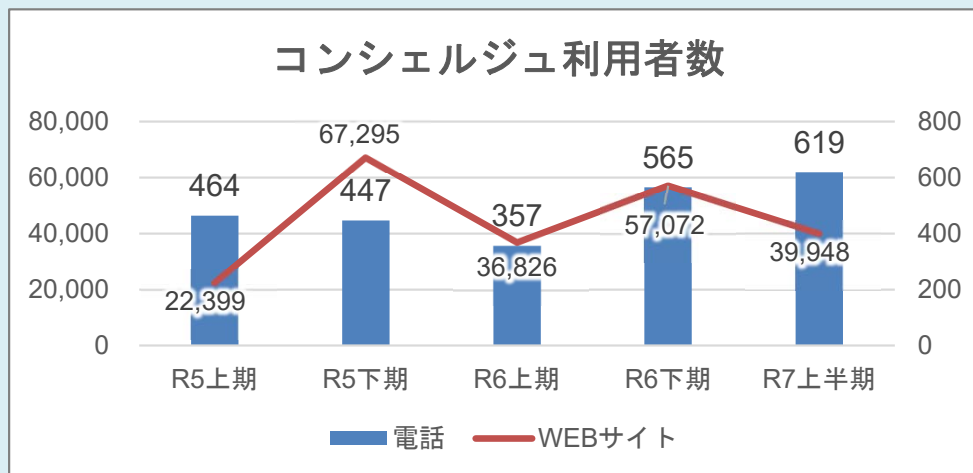
※小中学生の定期券除く

## 【人とWEBによる「交通コンシェルジュ」の設置】



★R4年10月 「**電話相談窓口**」と「**公共交通ポータルサイト**」  
の2本立てで移動に対するお困りごとを解決する**公共交通総合案内所**を開設

★R7.3月 交通コンシェルジュ **LINE** リッチメニューをより利用しやすいデザインにリニューアル



## 【自動運転の導入推進】

★R7.10月 東濃地域自動運転推進コンソーシアムの  
広域連携による**自動運転EVバス実証実験運行**

期 間：10月24日～11月9日 (14日間)

地 区：岩村城下町 (岩村駅～岩村歴史資料館～岩村駅)

運行便数：1日9便

利用者：710名 (78名/日平均)



地域公共交通計画における目標

アウトプット指標		H29実績		R5実績	R6実績	R7実績	R8目標値	達成率 R7/目標
目標1 公共交通を「支える」「活用する」 地域住民の活動促進	公共交通を「活用」する団体数	6	→	7 (R4実績)	9 (R5実績)	10 (R6実績)	11	91%
	ボランティア運転手養成講座の参加者数/年	0	→	37 (R4実績)	9 (R5実績)	9 (R6実績)	37	24%
目標2 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	公共交通などで、沿線4高校に通える中学校数	7	→	8	8	8	9	89%
	自主運行バス利用者 満足度/%	94.6	→	97.0	95.0	92.0	97.0	95%
目標3 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	観光による公共交通利用者数 <small>(観光列車、日帰り旅コース) (4月～翌年3月締)</small>	16,222	→	12,840 (R4実績)	11,395 (R5実績)	12,245 (R6実績)	16,000	76%
	グリーン会員証の発売枚数 <small>(4月～翌年3月締)</small>	963	→	733 (R4実績)	693 (R5実績)	713 (R6実績)	900	79%
	うち 上矢作地区(フィーダー) 明智地区(フィーダー)	24 260		20 205	14 219	16 244	30 260	53% 94%

アウトカム指標		H29実績		R5実績	R6実績	R7実績	R8目標値	達成率 R7/目標
1. 基幹路線(明知鉄道)の年間利用者数 (4月～翌年3月締)		380,889 <small>定期外162,489 通勤定期14,040 通学定期204,360</small>	→	272,087 <small>定期外128,967 通勤定期10,990 通学定期132,130</small> (R4実績)	307,857 <small>定期外157,627 通勤定期9,574 通学定期140,656</small> (R5実績)	347,817 <small>定期外158,111 通勤定期10,516 通学定期179,190</small> (R6実績)	367,000	95%
2. 広域幹線・幹線・市街地循環線の年間利用者数(前年10月～9月締)		220,117	→	104,661 (R5実績)	133,319 (R6実績)	173,955 (R7実績)	114,469	151%
3. 地域路線の年間利用者数(前年10月～9月締)		117,732 (達成度97%)	→	78,967 (R5実績)	59,296 (R6実績)	89,684 (R7実績)	57,515	155%

※路線再編に伴い目標値を改正 (R6.6)

### 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

		利用者数 (単位:人)					収支率 (目標値20%)			満足度 (目標値97%)			自己評価
		R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8目標値	達成率 R7/目標	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
全体 (営業路線除く)		115,703	115,365	162,714	110,883	146.7%	10.4%	8.3%	8.7%	97.0%	95.0%	92.0%	B <sub>1</sub>
自主 運行 バス	旧恵那地区												
	大井長島地域 (市街地地区)	19,807	15,106	17,891	14,530	123.1%	12.9%	8.6%	9.4%	96.0%	100%	85.7%	B <sub>1</sub>
	東野地域	697	1,257	1,730	1,114	155.2%	6.5%	3.1%	2.7%	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>
	三郷地域	14,287	21,877	35,109	18,794	186.8%	17.7%	15.6%	16.0%	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>
	武並地域	11,960	7,580	12,672	7,444	170.2%	19.1%	7.2%	9.4%	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>
	笠置地域	10,979	11,048	16,472	10,108	162.9%	16.2%	12.8%	12.2%	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>
	中野方地域	20,585	31,301	47,525	26,100	182.0%	24.6%	13.7%	15.2%	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>
	飯地地域	4,693	2,218	5,304	2,424	218.8%	10.9%	4.6%	7.5%	90.8%	100%	100%	B <sub>1</sub>
	岩村地域	62	20	83	62	133.8%	10.5%	10.2%	12.8%	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>
	山岡地域 (内数デマンド)	3,661 (582)	3,869 (485)	3,562 (449)	4,059 (582)	87.7% (77.1%)	4.5% (13.9%)	5.5%	4.8% (12.5%)	80.0%	100%	100%	B <sub>2</sub>
【フィーダー】明智地域 上期 (内数デマンド)	9,178 (8,556)	1,263 (362)	1,785 (576)	1,221 (289)	146.1% (199.3%)	7.3% (4.5%)	2.2% (5.0%)	2.8% (3.5%)	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>	
下期 (内数デマンド)	622 (120)	※スクール輸送を分離											
串原地域	8,482	8,073	8,010	8,359	95.8%	6.1%	7.3%	6.9%	100%	100%	100%	B <sub>2</sub>	
【フィーダー】上矢作地域 上期 (内数デマンド)	6,898 (3,800)	7,041 (131)	8,210 (129)	7,106 (307)	115.5% (42.0%)	3.9% (5.2%)	3.2% (9.1%)	3.6% (8.8%)	88.0%	67.0%	100%	B <sub>1</sub>	
下期 (内数デマンド)	3,098 (99)												
有償 運送	阿木地域	2,356	2,597	2,156	2,356	91.5%	6.1%	5.7%	4.3%	100%	100%	100%	B <sub>2</sub>
	いいじ里山バス	1,372	1,624	1,481	1,624	91.1%	4.0%	2.7%	2.0%	100%	100%	100%	B <sub>2</sub>
	くしばす	686	491	725	491	147.6%	5.9%	9.5%	5.2%	100%	100%	100%	B <sub>1</sub>

評価基準 A : 利用者が前年の1.01倍以上、収支率、満足度が目標値以上の場合 B<sub>1</sub> : 利用者が前年の1.01倍以上、又は収支率が前年を越えた場合  
 B<sub>2</sub> : 利用者及び収支率が前年を下回るが、満足度が80%以上の場合 C : 利用者及び収支率が前年を下回り、満足度も80%以下の場合

**【明知鉄道】**

- ・年間利用者数：目標値に対して**95%**と未達成であったが、**前年度比113%**と増加した。これは高校生を対象とした定期代の一部を補助する支援制度により効果が出ている。

**【バス路線全体】**

- ・バス利用者数：目標値を達成した。これはR5.4月に大幅な路線再編や運賃統一を行った結果が大きく影響している。また、R7.3月よりPAYPAY及びデジタル定期・回数券を導入したことにより、高校生などの若年層の増加が影響している。

**（広域幹線）**

- ・東濃鉄道**明智線**（明智駅前～瑞浪駅前）：利用者数は**前年比116%**と増加傾向にあり、これは運賃等の見直しや、回数券の廃止により定期券に移行したことが要因である。



**(地域路線)**

- ・ 東濃鉄道バス **恵那峡線**：PAYPAY・デジタル定期・回数券導入による利便性が高くなり、高校へ通う学生の利用が増加している。
- ・ **中野方線**：定期券購入月数が前年同月比と比べ増加傾向となっている。特に高校生の定期券購入が増加しており、中学3年生及び高校生に配布した利用促進チラシの効果が出ている。
- ・ **明智地区**デマンド（フィーダー）：について、地域によっては隔日運行であった運行方法を毎日運行としたことや、予約の受付期間を前日午後4時から1時間前へ見直しを行ったことにより利便性が高くなり、利用者数が**前月比159%**と増加した。今後更なる利用増が期待される。
- ・ **上矢作線**（フィーダー）：高校生の利用が回復し、**前年比116%**と増加。明知鉄道の定期券補助もあり、バス・鉄道の定期券を購入される方が増加している。  
**上矢作デマンド交通**：R7.3月に隔日運行を毎日運行とする再編を実施し、**前年比237%**増加と再編に効果があったと考える。
- ・ **山岡地区**：路線については**前年比92%**と減少傾向にある。運行事業者からのヒアリングによると、利用者のほとんどが高齢で、リピートされる方の減少が要因と考えられる。



### 目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

- ・【継】 乗り方教室（地域・学校・イベント・指導者）の継続開催
- ・【継】 高校生を中心とした市民への公共交通利用促進PR活動
- ・【拡】 えーなまち得公共交通応援事業の参加店舗の拡大
- ・【拡】 グリーン会員証やワンコインパスポートの購入会の拡大



### 目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

- ・【継】 移動可視化データの分析に基づく、  
一体的な交通ネットワークの再編（鉄道・バス・シェアサイクル）
- ・【新】 いいじ里山バスの恵那病院や恵那駅までの域外延伸及び  
高校生の通学便の新設
- ・【新】 市街地域における移動手段の確保充実（恵那病院へのアクセス充実）



### 目標3：域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

- ・【継】 恵那市交通コンシェルジュの周知強化
- ・【継】 キャッシュレスの利用促進・・・デジタル回数券・定期券・PayPay
- ・【拡】 シェアサイクルのステーションの増設
- ・【拡】 自動運転バスレベル4運行に向けた実証運行の実施
- ・【拡】 明知鉄道の企画列車の充実



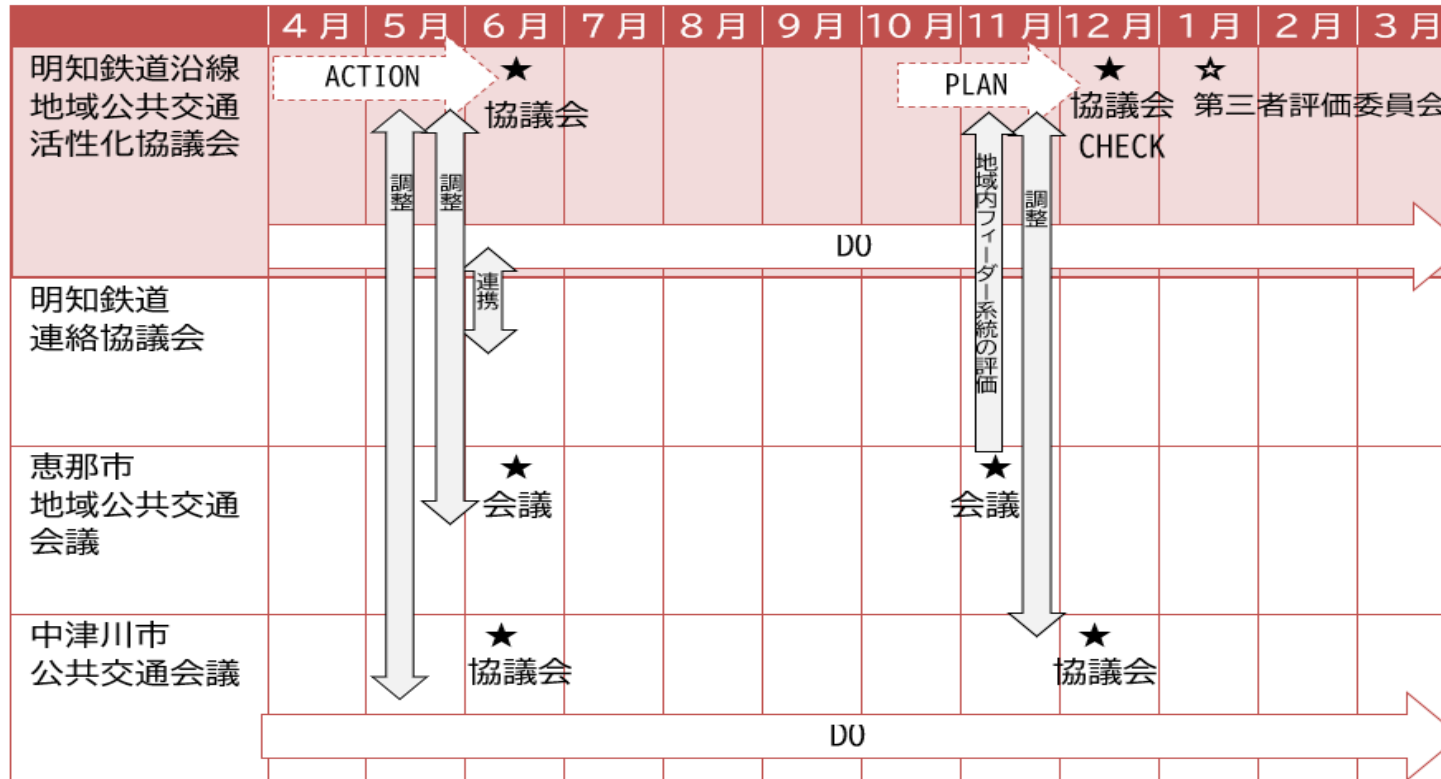
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	バスの乗り方教室を継続して実施し、幅広い年齢層に公共交通を周知し、利用促進に繋がるようPR活動されることを期待します。	バスの乗り方教室は市内イベント時や地域に出向いた開催や、新たに社会福祉協議会職員を対象とした教室も実施し啓発者の強化を図った。	継続して乗り方教室を開催し、教える側の強化も含めて実施していきます。
	移動可視化データを活用され、引き続き交通ネットワークの再編に努めることを期待します	移動可視化データを活用し便の見直しの及び検討を実施しました。	最適な路線や便となるよう移動可視化データを活用した検証を継続して実施していきます。
	公共交通を利用されるすべての方が利用しやすいように、デジタル回数券や定期券等の導入を検討されることを期待します。	令和7年3月15日からデジタル定期券・回数券を恵那市交通コンシェルジュポータルサイトで販売を開始。合わせてバス運賃をPayPayで支払えるようキャッシュレス決済を推進しました。	継続実施していくとともに、社会情勢を確認し、多様なキャッシュレス決済の導入について検討を実施していきます。
	市内商店と連携した「えーなワンコインパスポート」の周知強化に向けて、地域との連携、利用促進に向けて努められることを期待します。	令和7年12月1日からえーなワンコインパスポートやバス・鉄道の定期券を提示すると、市内店舗で特典やサービスが提供される「えーなまち得公共交通応援事業」を創設しました。	13店舗と参加店舗がまだ少ないことから、参加店舗の拡大を図り、公共交通の利用増に繋げていきます。
	地域間幹線系統である明智線について、引き続き、輸送量等現状の把握に努めるとともに、岐阜県、瑞浪市、運行事業者等関係者と連携して更なる利用促進を図るよう期待します。	東濃鉄道明智線の維持確保に向け、欠損額に対する支援を令和8・9年度分についても引き続き支援を行うよう協定を締結しました。合わせて、利用促進策を含む、「東濃鉄道明智線経営改善計画」を両市が承認し、利用促進を実施することを確認しました。	東濃鉄道明智線経営改善計画の東濃鉄道明智線利用促進企画に基づき、明智線デジタル特割定期券やバスオーナー制度の創設などに向けた利用促進の検討を三者で進めます。

※前回：令和7年3月27日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	令和5年4月に大幅な路線再編を行っていることから、利用動向の変化や効果などの情報収集と分析に努められることを期待します。	利用者の意見要望以外に、コンシェルジュからの報告と提案、可視化データを加えて情報収集と分析を行い、明智まちなか線や上矢作線、まちなか巡回バスの路線再編を実施した。	明智地域や上矢作地域と同様に他地域においても、情報収集と分析した路線再編を実施する。
	今後の取組方針に沿い、地域の方々と連携しながら、移動可視化データの活用、交通モードや市域を跨いだ取組の検討・実施など、ニーズに応じた更なる取組が図られることを期待します。	利用者ニーズに応えるため路線再編時に地元と協議連携のうえ、再編を実施した。恵那市内バス共通定期券と回数券のキャッシュレス化を行った。	バスと明知鉄道データを活用して一体的なネットワークにつなげる。高校生の利用増に向けたキャッシュレス決済のPR及びキャンペーンを実施する。

※前々回：令和6年3月21日

計画の評価と検証 計画の評価・検証、改善策の検討は、毎年年度末・年度はじめに開催される明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会の場で実施。具体的には、計画の目標で定めた成果指標だけでなく、それを実現するための「路線単位での評価」についても確認を行う。目標値が達成できていない場合は、その要因を分析し、改善策を検討するP D C Aサイクル（計画→実行→評価→改善）により実施する。



### 【協議会の実施状況】

第49回協議会（令和6年度第1回）令和6年6月5日

- 主な議題
- ・前年度事業報告並びに収支決算報告
  - ・公共交通計画の改訂
  - ・明知鉄道沿線地域公共交通計画 別紙 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）
  - ・本年度事業計画（案）並びに予算（案）
  - ・明知鉄道生活交通改善事業計画

第50回協議会（令和6年度第2回）令和7年1月8日

- 主な議題
- ・地域公共交通確保維持改善事業評価
  - ・令和7年度活動方針（案）

## ◆ 目標達成のための事業内容 ◆ ●● 具体的取組有り

目標	施策	事業	R7達成状況	R7取組状況	
【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1.公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1.観光列車やイベントでの市民による活動	○	沿線園児が列車に手を振る歓迎や、食堂車の乗客を日本大正村の方が駅で歓迎	
		2.地域イベントと連携した公共交通の活用	○	JRさわやかウォーキング(6月、R8.3月予定)、まちなか市(5月10月)、みのじのみのり祭り(9月)、WRC(11月)、ウィメンズラリー(11月)、六斎市(R8.3月予定)等と連携	
		3.SLの復元を通じた地域づくり	○	SL乗車体験(年4回/343名参加)、SL運転体験(年10回/193人)ふれあいイベント(R8.3月予定)、SLファンクラブ加入促進、SL復元準備委員会の設立(計1回)	
		4.待合時間を有効活用できる結節点	○	R5.7より商業施設2Fに「恵那未来キャンパス」開設。20時まで利用可能	
	2.公共交通を「支える」市民の活動促進	1.明知鉄道が有するさまざまな価値の発信	○	明知鉄道連絡協議会、交通会議にて情報発信、開業40周年事業の開催(記念フリー切符、デジタル鉄印、スタンプラリー、子ども無料デー11月)	
		2.沿線環境の整備	○	地域住民による沿線景観整備・駅舎花壇の手入れ、阿木高、恵那農業高生による駅舎装飾(門松設置、イルミネーション)	
		3.収入源の拡大	●	グリーン会員証、明知鉄道1日乗車券(市内バス無料)の販売(企画切符:SLデザイン、ジョルダン追加)、明知鉄道定期代補助制度の継続	
		4.モビリティマネジメントの推進	●	公共交通シンポジウムの開催(R8.3月予定)、公共交通乗り方教室の開催(7回)、えーなワンコインパスポートの発行(210件/12月現在)、高齢ドライバー安全運転相談会の開催(5月)、高校通学モデルコースチラシの配布(中学3年生:10月)、高校生向けの公共交通利用促進チラシの作成配布(10月)、えーなまち得公共交通応援事業の開始(12月)、はたらくのりもの広場(R8.3月予定)、ふれあい列車の運行、食堂車の運行、あみもの列車の運行(新企画)、バス時刻路線マップの作成配布、PR動画の配信	
	3.運転手確保に向けた取り組み	1.交通事業者との連携による募集活動	○	中津川・恵那おしごとフェア(8月)、バス運転手合同説明会(12月)への参加	
		2.資格取得の奨励策の調査・検討	△	バス事業者による大型二種免許取得費用補助制度の実施	
	【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1.地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1.恵那駅周辺での循環線の新設	●	まちなか巡回バスの運行、シェアサイクルのステーション拡大(8月藤太郎、R8.1月岩村駅、茅の宿とみだ)
			2.バス路線の見直し	●	運行内容の改正【上矢作デマンド交通(3月 毎日運行、ミーティングポイント移設)、明智デマンド交通(3月10月ミーティングポイントの追加)、岩村デマンド交通(8月臨時運行 10月事業者変更 目的地の撤廃)】、山岡=瑞浪線のバス停の移設と名称を瑞浪市コミュニティバスと統一(益見パロー前)、東濃鉄道明智の減便(10月)
3.明知鉄道の1時間1本化			○	準パターンダイヤ一部設定	
2.快適な公共交通利用環境の整備		1.施設の更新	○	鉄道施設の整備、バス車両の更新(明智まちなか線:1両/5月)	
		2.P&R、サイクルトレインの推進	○	サイクルトレインの実施(9件13名/4月~12月)	
		3.鉄道・バス共通1日乗車券の発売	△	明知鉄道1日乗車券(提示で市内バス運賃無料)の販売 今後鉄道も含めて検討	
3.関係者との連携強化		1.恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進	○	恵那峡線、大井町東・西線を地域公共交通会議の協議路線として一体的な利用促進を実施	
		2.隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実	○	R5より東濃鉄道明智線を維持確保するため、恵那市及び瑞浪市と欠損金の一部を支援。R8、9も継続支援の協定を締結	
		1.当地域に適したMaaSの実現	1.運賃のキャッシュレス化	●	1日乗車券のキャッシュレス化をR5.3に開始。R7.3月自主運行バスのデジタル回数券及び定期券、PayPayの導入、東濃鉄道デジタル回数券の実施
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	2.新たな技術を活用した付加価値の向上	2.人とアプリによる「交通コンシェルジュ」	●	恵那市交通コンシェルジュ(人・WEB)をR4.10から運用開始。WEBサイトのデザイン変更及び機能の拡充	
		3.日帰り旅コースの設置・運用	○	市交通コンシェルジュ内で公共交通を利用した「小旅」10コースを掲載。追加4コース作成中	
		4.定額制乗り放題運賃・年間パスポート	○	市内バス1日乗車券をR5.3発売。えーなワンコインパスポートの販売継続	
		5.モードを跨いだ運賃設定	○	市自主運行バスと東濃鉄道営業路線の運賃の統一をR5.3に開始	
		6.移動データの取得	○	AI画像認識技術で映像を数値に変換した移動データの可視化を導入	
		1.自動運転の導入推進	○	東濃地域自動運転推進コンソーシアムの広域連携による自動運転EVバス実証実験運行(地区:岩村城下町 期間:10月~11月 利用者:710名)	
3.バリアフリー化を通じたサービスアップ(現状維持から発展へ)	2.EV車両の導入推進	○	同上自動運転EVバス体験試乗会の実施、イベント時のc+podの試乗会		
	1.駅舎などのバリアフリー化	△	明知鉄道WEBサイトにおける駅の設備状況の公開		
	2.ボランティア車掌の創設	×	未検討		
4.観光列車の推進	3.外国語案内・バス系統番号の表示	○	コンシェルジュポータルサイト内一部外国語対応。バス系統番号を全バス車両に設置		
	1.観光列車と広報・周知の充実	○	イベント時における観光列車の周知		
		2.観光列車やイベントでの市民による活動(再掲)	○	事業1-1-1	